

平成25年度 第6回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成26年1月30日（木） 10：00～17：25

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（（独）労働者健康福祉機構関西労災病院

勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

川村 孝（国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか11名が出席

4 議題

（1）平成26年度新規公募研究課題の事前評価（ヒアリング審査）の実施

（2）平成26年度食品安全確保総合調査課題（案）の検討

（3）食品安全確保総合調査課題の事後評価方法について

（4）その他

5 議事概要

（1）平成26年度新規公募研究課題の事前評価（ヒアリング審査）の実施

平成26年1月8日の第5回調査・研究企画会議においてヒアリング審査対象課題として選定された以下の10課題について、当該課題の主任研究者に対し、ヒアリング審査を実施した。これら10課題の審査結果を踏まえ、次回の会議で新規採択課題の選定について審議することとなった。

【ヒアリング実施課題】

受付番号：2、8、12、13、17、20、21、22、23、27

（2）平成26年度食品安全確保総合調査課題（案）の検討

前回の会議で了承された平成26年度食品安全確保総合調査課題候補の仕様書（案）等について審議を行い、審議の結果を踏まえて、事務局において同（案）

の文言等の修正を行った上で、次回の会議で再度審議することとなった。

(3) 食品安全確保総合調査課題の事後評価方法について

前回の会議での審議を踏まえて、事務局において修正した食品安全確保総合調査課題の事後評価方法（案）について審議を行い、案のとおり了承された。

(4) その他

前回の会議で中間評価（ヒアリング審査）を行った平成25年度食品健康影響評価技術研究課題（当初採択3課題（以下①～③））の中間評価の結果について審議を行った。次回の会議で、以下④及び⑤の追加採択2課題の中間評価（ヒアリング審査）を行った上で、これら5課題の次年度への継続の可否等について審議を行うこととなった。

- ①1301: ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型 BSE の人に対する感染リスクの定量的評価（松浦裕一（独）農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所）
- ②1302: 核内受容体作用と酵素誘導解析を基盤とした、化学物質による肝肥大の毒性学的評価に関する研究（吉成浩一 東北大学）
- ③1303: 化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点（吉田緑 国立医薬品食品衛生研究所）
- ④1304: 遺伝毒性発がん物質のリスク評価手法に関する研究（小野敦 国立医薬品食品衛生研究所）
- ⑤1305: 食用動物由来薬剤耐性菌の定量的食品健康影響評価モデルの確立（田村豊 酪農学園大学）

—以上—

(注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)